

基本目標3 環境を守りはぐくむ人づくり

－イメージビジョン－



地域の環境、さらには地球規模の環境をよくするため、世代や職業、地域の枠を越えて、多くの人や団体が連携して活動しています。

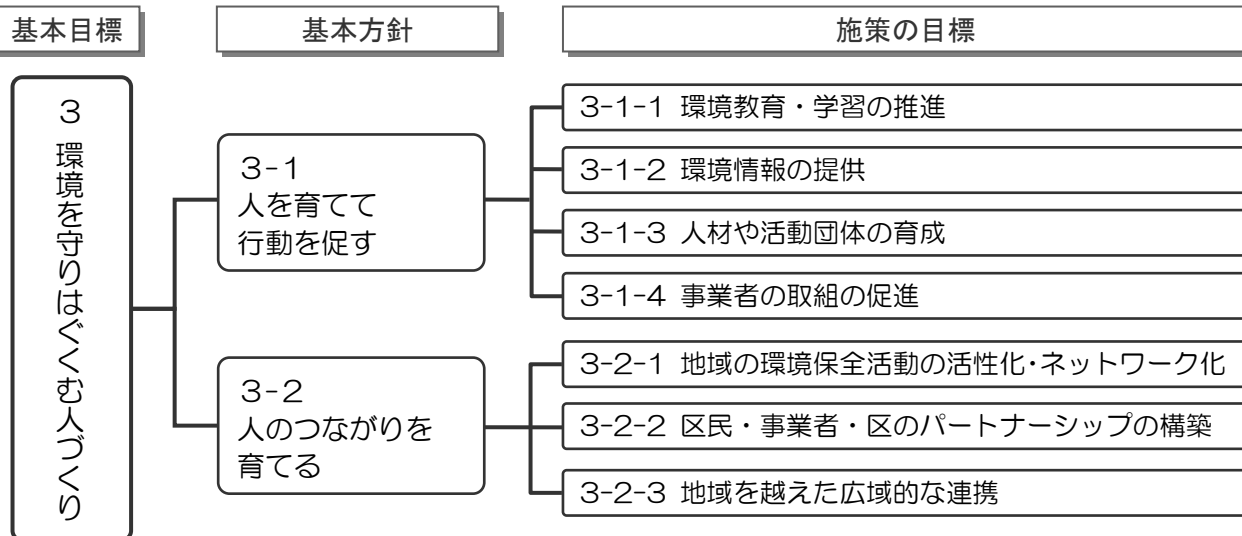
また、子どもたちも、「めぐろ」に愛着をもち、都会にありながら自然とのつきあい方を身につけています。

人々は、環境に与える負荷を十分に認識して、ごく自然に環境保全に取り組んでおり、多様なツールから環境に関する情報を得て、発信しています。

転入した人々も、子どもや地域との関わりの中で、「めぐろ」の環境について学び、環境にやさしい暮らし方を賢く選択しています。

こうした将来像を目標に、環境への気づき、意識改革、行動の変化をもたらす、学習や体験の機会を増やし、日常生活の中で環境に関する情報交換や活動ができる、環境コミュニティを醸成していきます。

また、環境学習等に参加した人々が、地域の環境活動や人材育成に携わっていく仕組みを構築し、区民の環境意識の向上を図ります。






3-1 人を育てて行動を促す







【実現に向けた考え方】

環境にやさしいまちをつくるためには、環境保全の大切さや環境問題の現状を知り、日常生活や事業活動において環境に配慮した行動を身につけ、定着させることが重要です。

そこで、環境学習の推進、環境情報の提供により、区民の皆さん一人ひとりの環境問題に対する関心を高めます。また、積極的に区の環境保全に関わる人材や活動団体を育成し、活躍の場を提供することで、区民の皆さんの環境意識や参加意欲の向上を図ります。

<指標の評価>

: 目標値を達成
 : 目標値に近づいている
 : 目標値に近づいていない
 -: 現状値を把握していない

指標項目 〔環境指標 取組指標〕	基準 年度	基準年度末 時点実績値	2016 (平成28) 年度末実績値	2021 (平成33)年度 数値目標 (目指す方向)	評価
環境推進員養成講座修了者数 (累計値)	22	63人	158人	263人	
環境保全活動参加経験率※1	24	5.8%	6.6%	2012 (平成24)年度 実績+10%	
環境に関する情報提供の満足度※2	24	11.0%	17.7%	2012 (平成24)年度 実績+10%	
めぐろ笑エネトライ <small>しょう</small> の参加者数※3	27	22人	18人	増加	
めぐろグリーンアクションプログラム(事業所版)の新規認定件数	22	1件	0件	増加	
区ホームページ※4(もっと知りたい環境のこと)アクセス数	23	697件	197件	増加	

※1 環境に関するアンケートの間「区で行っている環境保全に関する取組への参加経験」に対し、どれかに参加したことがあると答えた人の割合。

※2 環境に関するアンケートの間「環境に関する情報提供の満足度」に対し、満足及びやや満足と答えた人の割合。

※3 めぐろ笑エネトライは、めぐろグリーンアクションプログラム普及版を改訂した事業。

※4 トップページ>キーワードから知るめぐろのこと>学ぶ>もっと知りたい環境のこと

【2012(平成24)～2016(平成28)年度の成果と課題】

- 環境推進員の事業全般を2015(平成27)年度に見直し、2016(平成28)年度から目黒区エコプラザ指定管理事業として実施しています。2016(平成28)年度に開催された環境推進員養成講座では、12人が修了生となりました。このうち、9人がめぐろエコサポーター制度に登録し、1年間の環境保全活動終了後に、環境推進員として登録される予定です。今後も養成講座を開催するとともに、養成講座修了生への支援を充実させ、地域で活動する環境推進員の増加を目指します。
- 区独自の環境配慮行動プログラム「めぐろグリーンアクションプログラム」を通じ、家庭や事業所、学校において、地球温暖化防止のための行動を促進しました。このうち家庭向けの「めぐろ笑エネトライ」、事業所向けの「めぐろグリーンアクションプログラム(事業所版)」とともに参加者数、新規認定件数が伸び悩んでいます。より多くの区民の皆さんや事業者に参加いただけるよう、周知、普及啓発に努めていきます。

3-1-1 環境教育・学習の推進

《「目黒区環境学習実行プラン」における環境学習の推進》

環境学習分野の事業の進行管理を計画的に行うため、2014(平成26)年3月に、「目黒区環境基本計画」の基本的な考え方に沿い、「目黒区環境学習実行プラン」を改定しました。

「目黒区環境学習実行プラン」は、区内に在住・在勤・在学・在活する区民の皆さんや事業者を対象に、「気づき」を促すことから始め、環境保全の取組方を身につける「知恵づくり」、さらに環境保全活動に積極的に関わる人材をはぐくむ「人育て」へと、環境学習への「啓発」を積み重ね、環境学習活動の充実や行動を促すことを目指します。

【2016（平成28）年度の達成度と評価】

「目黒区環境学習実行プラン」の改定により、達成状況を毎年度点検し、数値目標を定めない計画についても評価できるように、人づくりを重視した環境学習評価シートによる自己評価を行います。

2016（平成28）年度について、施策の目標ごとに次のとおり達成度を評価します。

【達成度 A】 計画目標を上回った	【達成度 B】 計画目標を達成した
【達成度 C】 計画目標を一部達成した	【達成度 D】 計画目標を達成していない

基本目標1 <良好な生活環境を守りはぐくむ>

1-1 きれいな空気と水辺のあるまちで暮らす	達成度
・有害化学物質に対する情報収集や啓発	B
〔評価コメント〕 計画について、目標どおり達成することができた。 条例に基づき、適正管理化学物質を一定量以上取扱う事業所に使用量の報告を求め、すべての対象事業所からの報告を都へ提出した。また、エコまつり・めぐろなどのイベントで有害化学物質に関するパネルを展示し、啓発を行った。	

1-2 みどりあふれるまちで暮らす	達成度
・みどりのまちなみ助成	B
・駒場野公園での体験型環境学習の推進	B
・区民農園	B
・収穫体験農園（じゃがいも掘り）	B
・収穫体験農園（ぶどう狩り）	B
・自然通信員の育成	B
・ビオトープ事業	B
・自然とみどりの普及啓発パンフレットの作成・配布	B
・落ち葉ソク事業	B
・自然観察教室の開催（いきもの発見隊）	B
・巣箱モニター	B
・花とみどりの学習館の緑化普及・ボランティア養成事業	B
・公園活動登録団体などの支援	B
〔評価コメント〕 計画について、目標どおり達成することができた。 区民の皆さんやボランティア団体、学校、他自治体など、多様な主体と協働して実施するとともに、区報や区ホームページを活用して積極的に広報活動を行い、事業の普及啓発を図った。 また、継続して事業を実施することにより、持続可能な社会づくりが地域に定着してきている。	

1-3 安らぎのあるまちをつくる	達成度
・目黒川クリーンアップ大作戦	B
・ポイ捨て禁止啓発	B
・落書き消去活動支援	B
・ボランティア清掃活動団体支援	B

1-3 安らぎのあるまちをつくる	達成度
・環境美化推進団体支援	B
・区内文化財めぐり	B
・歴史資料館運営	B
・古民家運営	B
〔評価コメント〕 計画について、目標どおり達成することができた。 「自分たちのまちは自分たちできれいにする」という意識のもと、スイーパーズ活動や町会によるガム取り活動を行い、地域住民と協働した清掃活動を実施した。 地域住民がより主体となる活動の実施を目指すため、区報や区ホームページなどで広報活動を行った。	

基本目標2 <ライフスタイルの転換で環境を守りはぐくむ>

2-1 ものを大切にできる地域社会をめざす	達成度
・環境学習の充実（子ども向けのパンフレット・啓発品の作成・配布）	B
〔評価コメント〕 計画について、目標どおり達成することができた。 小学校と連携して実施し、子ども向けのパンフレットを作成して区内小学生へ配布した。 「めぐろ買い物ルール」の周知や、1人1日あたりごみ量を約100g減量することに向けて「MGR100プロジェクト」の推進などに取り組んだ。	

2-2 地球にやさしい地域社会をつくる	達成度
・エコ住宅の啓発（住宅リフォーム資金助成）	B
・エコ住宅の啓発（住宅修築資金融資あっせん）	B
・新エネルギー及び省エネルギー機器設置費助成	B
・商店街街路灯のLED化支援事業	B
・温暖化月間、省エネの啓発、ヒートアイランド対策	B
〔評価コメント〕 計画について、目標どおり達成することができた。 区報や区ホームページで事業の周知を行い、新エネルギー及び省エネルギー機器設置費助成を継続的に実施することにより、環境負荷の少ないエネルギー利用の促進を図ることができた。 商店街街路灯のLED化支援事業では、支援予定のLED化をすべて実施することができた。	

基本目標3 <環境を守りはぐくむ人づくり>

3-1 人を育てて行動を促す	達成度
・ふれあい指導（依頼による出前環境学習、資源・ごみ処理の流れや分別）	A
・野外活動機材貸出し（環境教育・学習の推進）	B
・中学生の自然体験授業（環境教育・学習の推進）	B
・自然宿泊体験教室事業の実施	B
・めぐろグリーンアクションプログラム（学校版）の定着・推進	B
・環境月間（環境学習の推進）	B
・環境学習（環境学習の推進）	B
・環境測定機器貸出し（環境学習の推進）	B

3-1 人を育てて行動を促す	達成度
・めぐろグリーンアクションプログラム（家庭版・普及版）	B
・環境推進員養成講座（環境学習の推進）	B
・環境推進員ステップアップ講座、交流会（環境学習の推進）	B
・環境学習施設協働事業（環境学習の推進）	D
・消費生活講座（環境問題を考え、環境に配慮した消費生活の意識向上）	B
・めぐろグリーンアクションプログラム（事業所版）	B
・国際規格取得支援事業（ISO9000、ISO14000 シリーズの認証取得経費の補助）	D
〔評価コメント〕 計画について、概ね目標どおり達成することができた。 環境への気づき、意識改革、行動の変化をもたらすことを目指し、日常生活の中で環境に関する活動ができる人を育てていくための自然体験学習や施設見学、食品ロスを考えるエコクッキング、ソーラーカー乗車体験など、体験型の講座や環境学習を実施した。また、区内事業者や団体などと協働しながら事業を実施した。 環境学習施設協働事業及び国際規格取得支援事業は、計画に定めた目標を達成することができなかった。環境学習施設協働事業では、生ごみ堆肥化機械を使用して、家庭から出る生ごみを堆肥化しているが、利用回数が目標よりも少なかった。 国際規格取得支援事業では、中小企業が国際規格認証取得のために必要な経費を一部助成しているが、実績がなかった。	

3-2 人のつながりを育てる	達成度
・消費生活展（環境問題について考え、環境に配慮した消費生活の意識向上）	B
・エコまつり・めぐろ	B
・エコプラザまつり	B
・めぐろエコの森（宮城県角田市）整備事業	B
〔評価コメント〕 計画について、目標どおり達成することができた。 消費生活展などのイベントでは、リサイクルや省エネの視点を盛り込んだ講座を実施し、ごみ減量の重要性などを啓発することができた。 エコまつり・めぐろでは、「『もったいない』は世界のことは～子どものため、地球のため～」をテーマとして、フードドライブや、環境にやさしい活動を行う40以上の団体によるブース展示などを行った。また、環境推進員養成講座の修了生が結成した団体が増加していることに伴い、「めぐろ環境ナビゲーター」ブースを設置して、団体同士が交流できる場を設けた。	

重点プロジェクト	達成度
・「節電からはじめるライフスタイルの転換」の推進	B
〔評価コメント〕 計画について、目標どおり達成することができた。 「めぐろスマートライフ」ホームページでは、“誰でも、楽しく、簡単にできる”をコンセプトに、環境にやさしい行動を賢く選択する暮らし方について、提案する記事を継続的に更新した。	

《 環境学習機会の提供 》

自発的な環境活動へのきっかけとして、身近なテーマで大人から子どもまでを対象とした講演会・学習会を開催しました。

また、めぐろ笑エネトライしやうを普及させていくことで、世帯単位での環境配慮への取組を進めました。

＜環境学習の内容と参加人数＞ (単位：人)

講座・講習会名	延参加人数
子育てママのエコ入門講座（12回）	404
消費生活講座（3講座）	72
消費生活展	約5,000
めぐろ笑エネトライ <small>しやう</small> の参加者数	18

《 学校などにおける環境学習の推進 》

学校における環境学習活動の充実を図るため、学校版めぐろグリーンアクションプログラムを区立小中学校全31校で継続して行っています。また、各校の取組に対する支援としてアドバイザーを12校に派遣しました。

《 自主的な環境学習の支援 》

環境学習の一つとして、身近な環境測定機器（騒音計）の貸出しを行いました。また、生ごみの堆肥化活動の支援を行いました。利用回数は44回と減少していますが、区民の皆さんの活動が定着してきました。



＜騒音計＞

《 エコプラザを活用した環境学習 》

環境に配慮した生活を提案するため、身近な体験を通して楽しく学べる、さまざまなテーマの講座・講習会を目黒区エコプラザで開催しました。

講座は、バスボム講座など延べ97講座、講習会の参加者は2,564人でした。この取組は、地域の団体、事業者、学校などと協働で企画運営しており、子どもたちの参加が増加しました。



＜バスボム講座＞

＜環境学習の内容と参加人数＞ (単位：人)

講座・講習会名	参加人数
自然エネルギーを体感しよう	400
出前講座（小学校・老人いこいの家）	145
子育てママのエコ入門	404
修理コツコツ講座	155
何でもつくり隊	1,160
打ち水講座・エコプラザまつり	300



＜さき織り体験講座＞

2017（平成29）年度に実施する主な施策の内容

- ◇ みんなで楽しく笑いながら省エネにトライする「めぐろ笑エネトライしやう」の普及に努めます。
- ◇ 区民の皆さんなどが自主的に行う環境学習・環境活動への支援を行います。
- ◇ エコプラザを活用した、省エネルギーやごみ減量に関する講座・講習会を開催するとともに、参加者層（特に若年層）の拡大を図ります。また、活動室などを活用して、活動団体が定例で開催するリユース講座や包丁研ぎ講座などのリペア事業の開催を定着させます。



3-1-2 環境情報の提供

《 環境情報の一元化 》

2012（平成24）年3月に改定した「目黒区環境基本計画」の体系に基づき、2016（平成28）年度に実施した環境施策の状況及び評価を明らかにした環境報告書（本編・概要版）を作成し、区の施設で配布したほか、区ホームページ²⁴でも公表しました。

《 多様な媒体を活用した環境情報の発信力の強化 》

6月の環境月間に、総合庁舎西口ロビーで環境パネル展を行い、省エネ活動・ポイ捨て防止の啓発や、環境推進員などを紹介しました。また、エコプラザニュースの発行（計12回）など、広報の充実を図り、目黒区エコプラザの利用促進を図りました。さまざまな機会、媒体を活用して環境情報の発信力を高めました。

＜目黒区エコプラザの利用状況＞

利用項目	登録人数 ／利用件数
新規利用登録人数	142人
活動室利用件数	466件
図書貸出し件数	186件
不用品情報登録件数	301件
不用品のあっせん成立件数	92件

2017（平成29）年度に実施する主な施策の内容

- ◇ 「目黒区環境基本条例」に基づき、環境報告書の作成と配布を行います。
- ◇ 環境月間を周知するとともに、一人ひとりが身近な地域から環境を考えるきっかけとなるようなパネル展などを実施します。
- ◇ 区ホームページに環境情報の積極的な掲載を行い、情報発信します。
- ◇ エコプラザのPR活動を強化し、利用促進を図ります。

トピックス

目黒区エコプラザとは…

環境にやさしい暮らし（エコライフ）に役立つ情報提供や環境講座を開催しています。

情報室では、図書コーナーを設けて、環境に関する図書の閲覧などに利用できるほか、貸出しも行っています。

また、譲りたい方と欲しい方をつなぐ不用品情報コーナーや暮らしに密着した環境情報の展示も行っています。

リサイクルショップでは、区民の皆さんから寄付していただいた衣類や雑貨などを必要な方に販売しています。提供品を販売した収益金で、エコライフめぐろ推進協会が環境学習関連事業などを行っています。

詳しくは、「エコライフめぐろ推進協会」ホームページをご覧ください。

WEB <http://park15.wakwak.com/~meguro.3r/>



＜図書コーナー＞



＜リサイクルショップ＞

²⁴ トップページ＞行政情報＞統計・調査・報告＞調査・報告＞目黒区環境報告書（めぐろの環境）

3-1-3 人材や活動団体の育成

《 地域の環境配慮活動団体の支援 》

学校や団体からの要請により、テーマに沿った講師を派遣しました。

《 環境推進員などの育成・支援 》

「めざそう！あなたが地域の環境リーダー」をテーマとして、環境推進員養成講座を開催しました。15人の受講生のうち、12人が修了しました。



＜環境推進員養成講座
グループ発表の様子＞

2017（平成29）年度に実施する主な施策の内容

- ◇ 目黒区エコプラザ事業として、環境推進員事業を実施します。環境保全活動のリーダーとして地域で活動する環境推進員を育成し、仲間づくりや実際に環境保全活動へ参加する機会を提供します。
- ◇ 地域活動団体・事業者団体に対して、活動の支援を行います。

3-1-4 事業者の取組の促進

《 環境に配慮した事業活動の促進 》

めぐろグリーンアクションプログラム（事業所版）を推進し、認定会を3回行いました。更新認定が3件、中間報告が17件ありました。新規の認定は、ありませんでした。

また、製造業、建設業、情報通信業及びものづくりにかかわる、ソフト産業を主たる事業として営む区内中小企業の国際標準規格であるISO9000並びに14000シリーズの取得に対して、費用の一部を助成していますが、申請はありませんでした。

2017（平成29）年度に実施する主な施策の内容

- ◇ めぐろグリーンアクションプログラム（事業所版）を推進します。
- ◇ 区内中小企業でものづくり事業を営む事業者に対し、国際規格取得支援事業を行います。

3-2 人のつながりを育てる

【実現に向けた考え方】

区内には、環境保全活動に熱心に取り組んでいる人や団体が多数存在しています。地域の環境保全活動をさらに活性化するため、目黒区エコプラザを拠点とした環境配慮活動団体のネットワーク化を図り、環境活動に取り組む人や団体同士の交流と連携を図ります。

また、区民の皆さん・事業者・区のパートナーシップや他都市との連携により、各主体の協力が必要な取組や、地域を越えた広域的な環境課題に対する取組の効果を一層高めます。

<指標の評価>

😊: 目標値を達成 😊: 目標値に近づいている 😞: 目標値に近づいていない -: 現状値を把握していない

指標項目	〔環境指標 取組指標〕	基準 年度	基準年度末 時点実績値	2016 (平成28) 年度末実績値	2021 (平成33)年度 数値目標 (目指す方向)	評価
目黒区エコプラザ登録団体数		22	8団体	6団体	38団体 (3団体/年)	😞
地球温暖化対策地域協議会開催回数		22	2回	2回	継続的な開催	😊
環境審議会開催回数		22	4回	5回	継続的な開催	😊

【2012（平成24）～2016（平成28）年度の成果と課題】

- ・ 目黒区エコプラザ登録団体数は、6団体で、2010（平成22）年度より減少しました。区民の皆さん、団体、事業者の行動は、環境保全の取組の中心的な役割を担うものであり、すべての環境の基盤となるものであることから、育成した人材の活躍の支援、活動の組織化、人材や団体の交流などの支援を強化していきます。
- ・ 地球温暖化対策地域協議会、環境審議会ともに継続的に開催しています。2016（平成28）年度は、「目黒区環境基本計画」の改定を審議したことから、環境審議会が例年より多く開催されました。今後も、定期的に地球温暖化対策地域協議会、環境審議会を開催し、区民の皆さん・団体・事業者のパートナーシップにより環境施策を推進していきます。

3-2-1 地域の環境保全活動の活性化・ネットワーク化

《地域の環境保全活動の普及および参加促進》

2016（平成28）年6月に、エコライフめぐろ推進協会と共催で、「エコまつり🍃めぐろ2016」を開催しました。参加団体数は41団体、来場者数は約1,870人でした。5回目となる今回は、「“もったいない”は世界のことば～子どものため、地球のため～」をテーマにさまざまなブースを設けました。区内の環境活動団体や事業者などが環境問題に関する発表や展示などを行い、区民の皆さんと親しく交流する場になりました。家庭に眠る食品を寄付することで食品ロスを減らす「フードドライブ」のブースには、多くの食品が持ち寄られました。



<エコまつり🍃めぐろ2016>

また、地域の環境活動の活性化につなげるため、幅広い環境活動に継続して取り組んでいる区民の皆さん・団体・事業者を顕彰する「エコ・チャレンジ顕彰」は、2001（平成13）年度から開始し、今までに56人の区民の皆さん、51団体、10事業者の方が受賞しています。2016（平成28）年度は、3事業者を顕彰しました。



＜エコ・チャレンジ顕彰＞

＜被顕彰者の取組＞

被顕彰者（敬称略）	顕彰理由
スタンレー電気株式会社	地域の清掃ボランティア団体である、中目黒スーパーズの発足に際して、中心的な役割を担うとともに、長年にわたり清掃活動を定期的実施し、区内の環境美化に貢献した。
株式会社スミカ 株式会社スミカ・クリエイト	
目黒信用金庫	

2017（平成29）年度に実施する主な施策の内容

- ◇ 田道ふれあい館などで開催する「エコまつり🌿めぐろ2017」について、支援を行います。
- ◇ 地域団体との連携、支援事業、地域活動協力者の養成を図ります。
- ◇ 環境負荷の低減や環境保全のために顕著な取組を行っている区民の皆さん、団体及び事業者などを顕彰し、地域における環境保全の取組意欲を高め、環境と共生するまちづくりの推進を図ります。

トピックス

エコライフめぐろ推進協会とは…

1995（平成7）年、区民の皆さんと行政が連携してリサイクルを推進する組織として「リサイクルめぐろ推進協会」が設立されました。その後、2005（平成17）年に環境全般にわたる事業を行う「エコライフめぐろ推進協会」へと改称し、環境問題に関する情報の普及・啓発や環境活動をする区民の皆さんや活動団体などへ支援を行っています。2006（平成18）年には、区の指定管理者となり、目黒区エコプラザの管理運営も行っていきます。

協会では、エコまつり、環境問題に関する講座、「めぐろスマートライフ」ホームページによるエコライフの提案などを行っています。また、目黒区エコプラザを拠点とした古着の回収など、資源回収事業も行っていきます。

今後も引き続き、環境問題に積極的に関心を持つ人たちだけでなく、一人でも多くの区民の皆さんが環境にやさしいライフスタイルに関心を持ち、さまざまな立場の人たちがつながっていけるネットワーク作りの拠点となる役割が期待されています。

WEB 「エコライフめぐろ推進協会」ホームページ
<http://park15.wakwak.com/~meguro.3r/>

3-2-2 区民・事業者・区のパートナーシップの構築

《 区民・団体・事業者のパートナーシップによる環境施策の推進 》

協働による環境保全活動の推進に向けて、環境審議会を5回開催し、「目黒区環境基本計画」改定についての審議を行いました。専門委員会では、「目黒区環境基本計画」改定に向けた施策体系などの基本的な考え方の審議を行いました。

また、区民の皆さんや事業者などが参加し、地球温暖化対策について話し合う場となる地球温暖化対策地域協議会を2回開催しました。協議会では、「目黒区地球温暖化対策地域推進計画」の進捗状況を確認し、目標に向けた効果的な取組について検討しました。

＜環境審議会の開催内容＞

回・開催日	内容
第1回 2016（平成28）年 4月26日	審議事項（1）重点プロジェクトについて （2）2016（平成28）年4月以降の改定スケジュールについて
第2回 2016（平成28）年 7月28日	審議事項（1）答申に向けた中間のまとめについて （2）2016（平成28）年8月以降の改定スケジュールについて
第3回 2016（平成28）年 9月8日	審議事項（1）答申（案）について （2）2016（平成28）年10月以降の改定スケジュールについて
第4回 2016（平成28）年 10月12日	審議事項（1）答申（案）について （2）今後の改定スケジュールについて 情報提供 ・ 平成28年度版めぐろの環境（環境報告書）の発行について
第5回 2017（平成29）年 1月27日	報告事項 ・ 「目黒区環境基本計画」改定案について（案）

2017（平成29）年度に実施する主な施策の内容

- ◇ 環境審議会や地球温暖化対策地域協議会を開催します。
- ◇ 「目黒区地球温暖化対策地域推進計画（第二次計画）」に基づき、二酸化炭素排出量やエネルギー消費量の削減に向けた取組を推進します。

トピックス

目黒区地球温暖化対策地域協議会とは…

区民の皆さん、事業者、地域団体、学校、区など、幅広い分野の代表者がメンバーとなり、2006（平成18）年12月に設立されました。2007（平成19）年度に「地球温暖化防止目黒行動宣言」を実施したほか、2008（平成20）年3月末策定の「目黒区地球温暖化対策地域推進計画」の改定について検討しました。今後も、地域が一体となって地球温暖化防止の取組を進めるため、さまざまな啓発活動を行っていきます。

WEB [トップページ](#) > [くらしのガイド](#) > [自然・環境・ごみ](#) > [地球温暖化対策](#) > [地球温暖化対策地域協議会](#)

3-2-3 地域を越えた広域的な連携

《 他地域との連携による取組の推進 》

「めぐろエコの森」は、地球温暖化対策におけるカーボン・オフセット²⁵を展望した事業のひとつとして、2010（平成22）年度に友好都市である宮城県角田市の四方山の一角に創設しました。

「めぐろエコの森」に植樹した樹木を生育させるために、生育の支障となる下草などの刈り払いを2回行いました。さらに、獣類による被害を防止するための忌避剤散布を行いました。

「めぐろエコの森」整備事業は、みどり東京・温暖化防止プロジェクトの助成を受けて実施しています。



＜めぐろエコの森＞

2017（平成29）年度に実施する主な施策の内容

- ◇ 「めぐろエコの森」に植樹した樹木を生育させるために、下刈作業を行います。

トピックス

エコプロ2016へ出展しました

日本最大級の環境展示会「エコプロ2016」が開催され、オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」による出展ブースに、目黒区も参加しました。区の環境に関する取組の紹介として、省エネルギーや資源の有効利用など環境にやさしい行動を賢く楽しみながら実践するアイデアやコツを発信する「めぐろスマートライフ」、「住宅用新エネルギー及び省エネルギー機器設置費助成」のパネルを展示しました。2016（平成28）年度は、島しょ部を含む46自治体が参加して「みどり東京ミュージアム 山から、まちから、島から～エコ活動の博物館～」をテーマに出展し、来場者から好評でした。

「エコプロ2016」では、「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」のブースのほか、企業や大学が出展しており、環境への取組やエコ製品の紹介などを行っていて、普段では得られない情報も盛りだくさんでした。

【次回開催予定】 エコプロ2017

日時 2017（平成29）年12月7日（木）～9日（土）

10：00～17：00

会場 東京ビッグサイト

（ゆりかもめ国際展示場正門駅下車3分）



＜エコプロ2016＞

²⁵ カーボン・オフセット：温室効果ガス排出量のうち、どうしても削減できない量の全部又は一部を他の場所での排出削減・吸収量でオフセット（埋め合わせ）すること。